

熊本地震に関する論文募集 実施要綱

懸賞論文募集の主旨

2016年4月、熊本県に未曾有の大災害「熊本地震」が発生し、2018年6月には大阪府北部地震、2018年9月には北海道胆振東部地震と大地震が発生しました。数百年に一度、数十年に一度といわれる大地震を予知することは難しい状況です。地震、大雨と何時どこで大災害発生するかわかりません。また、たとえ予知できたとしても、このような大災害では被害を防ぐことは非常に困難で、災害への個人の心構えが非常に大事なものであると考えられます。そこで、今回の地震経験を今後の災害への備えとして多くの人に伝えるため、皆様の地震経験談を募集致します。報道では紹介されていない地震被害や地震直後に起こる復旧・再建への道のりを伝えることができるように、より多くの方に応募して頂きたいと思っております。

1 応募資格 熊本地震を経験した者（学生を含む）

2 懸賞論文のテーマ 熊本地震を経験して

（応募区分① 一般応募）

- ・地震の様子、周辺被害の様子
- ・地震直後に身の回りに起こった災難（停電・断水・渋滞・近所トラブルなど）
- ・被災から復旧・再建までの経験（施主として）
- ・避難生活の状況

（応募区分② 建築関係者応募）

- ・地震直後の様子（応急処置・復旧再建依頼・材料、人員の手配）
- ・応急危険度判定等、被災度区分判定等の被害後調査の様子
- ・復旧、再建工事・委託の様子
- ・その他、建築士会員・建築士・建築関係者としてこの地震で感じたこと

などの地震での経験談と、この経験を踏まえ大災害に遭遇したことがない者または被災した熊本県民、自分自身への今後の教訓・提案等を記載すること

※建築関係者の一般応募も可

3 賞	最優秀賞（1名）	副賞 10万円
	優秀賞（2名）	副賞 5万円
	佳作（1～10名）	副賞 1万円

4 応募方法 サブタイトルをつける。概ね2000字とし、写真またはイラスト（3枚まで）の挿入可。Word形式の原稿データまたはA4用紙にプリントアウト、直筆の場合は原稿用紙を使用。任意様式で、別紙に、住所・氏名・年齢・職業・電話番号、応募区分を記載する。

5 応募期間 平成30年11月1日～平成31年4月16日

6 提出先 （公社）熊本県建築士会までメールまたは郵送（当日消印有効）

7 審査発表 平成31年6月（入賞者に郵送及び電話）
（入賞者が高校生以下の場合、保護者に副賞受け取り法について確認）

8 表彰 平成31年6月 通常総会において

- 9 **審査員** 熊本県建築士会 会長・副会長・青年部会長・女性部会長・
熊本日日新聞社編集 委員松尾正一
- 10 **応募作品** 応募作品の著作権は応募者に所属し、著作権は主催者に所属する。
尚、応募作品は返却しません。
- 11 **掲載・出版** 応募作品は審査の上、熊本県建築士会会報「建築士くまもと」に連載する。
応募作品が多数（概ね30作品以上）の場合、冊子にまとめ希望する公共
機関へは無償提供、個人へ有料（印刷代・送料程度）で販売します。
- 12 **個人情報の取り扱いについて**
個人情報は、選考結果通知並びに賞の発送等に関することに利用し、（公社）熊本県
建築士会のPR等、利用目的の範囲を限定して適切に取り扱う。
- 13 **提出先・問い合わせ先（主催）**
熊本県建築士会 〒862-0954 熊本市中央区神水1丁目3-7
Tel 096-383-3200 Fax 096-383-1543 Mail leb03540@nifty.com